

# 道路空間の再配分について (他都市の事例)

# 道路空間の再配分【松山市における社会実験の事例】

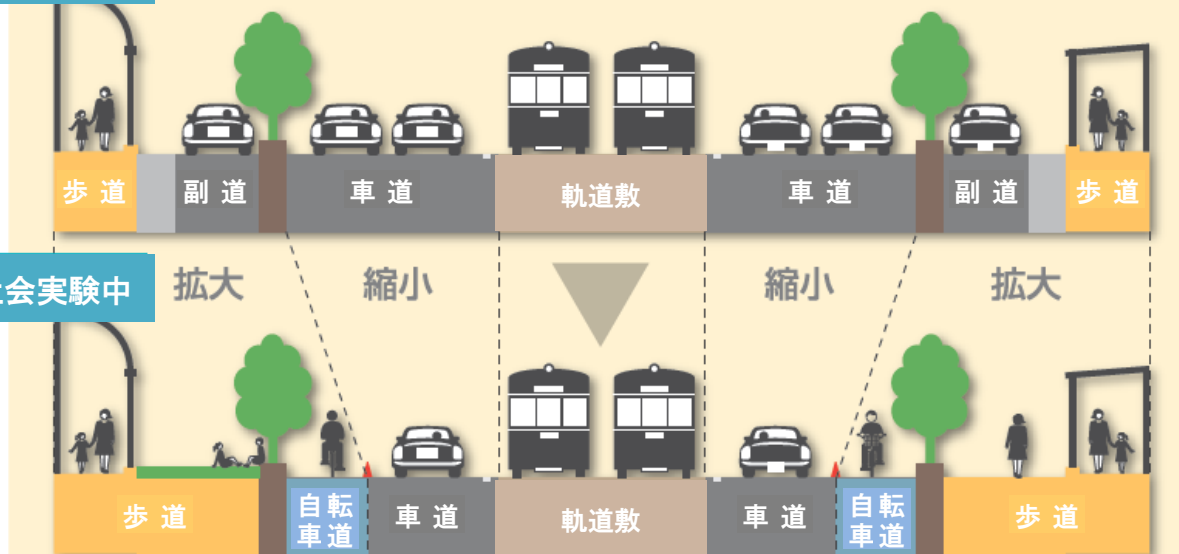
## 社会実験の目的

中心市街地での安全・快適な歩行空間の形成や賑わい・憩いの空間の創出など、誰もが暮らしやすい都市づくりを行うため、花園町通りにおいて、車線を減らして歩道を拡大する交通社会実験と、拡大した歩道空間を活用した賑わい・憩いの空間づくり社会実験を実施。

## 社会実験の概要

- ・ 実験期間 [平成24年10月25日(木)12時から11月4日(日)14時までの11日間]
- ・ 実験区間 [花園町通りと千舟町通りの交差点から南堀端との交差点までの約250m]
- ・ 片側2車線の車道を1車線化し、自転車専用レーンを設置
- ・ 側道車線を廃止し、歩道空間を拡幅
- ・ 拡大した歩道空間において、催し物の実施や芝生・花壇を設置

## 社会実験前



横断構成変更のイメージ



花園町通り中央の軌道敷



歩道空間での催し物



新設された自転車専用レーン

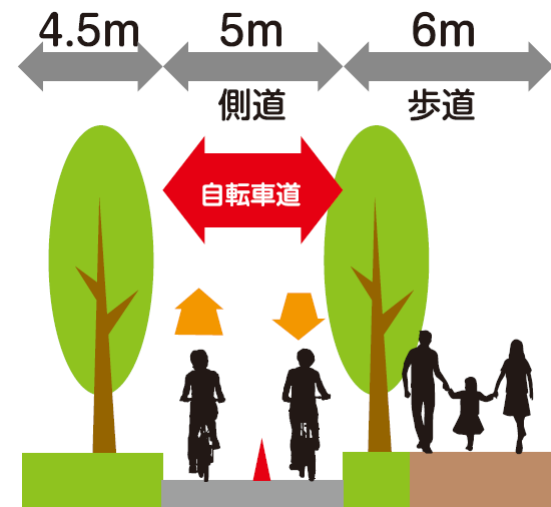
# 道路空間の再配分【大阪市における社会実験の事例】

## 社会実験の目的

御堂筋において東西に5mずつある側道で自動車等の通行を規制することにより、安全で快適な歩行者空間を創出したときの交通影響等を確認するための社会実験を実施。

## 社会実験の概要

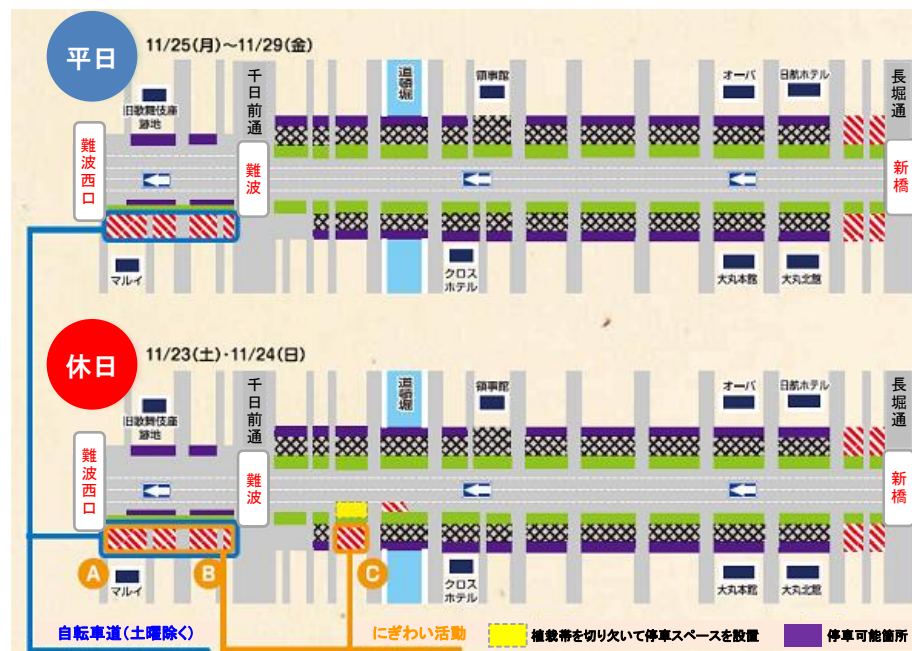
- ・ 実験期間 [平成25年11月23日(土)から11月29日(金)までの7日間]
- ・ 実験区間 [新橋交差点(長堀通)から難波西口交差点付近までの約1km]
- ・ 側道車線を閉鎖し、自動車等は本線のみ通行可
- ・ 閉鎖した側道車線において、自転車道やイベントなどのにぎわい活動の空間を創出
- ・ 荷下ろしなどで沿道に用のある車両は一部通行・停車可



側道を活用した自転車道のイメージ



社会実験の範囲



道路空間再編のイメージ